

R6.7.19 令和6年度 第2回丹波市環境審議会 指摘事項等一覧

一	委員等	意見要旨	修正
p. 14	足立篤委員	図3-6で農業従業者数増加に違和感がある。	・文章を修正 ・グラフ図6-3に説明書きを追記
p. 30	石倉委員	「豊かな」は何が豊かを示した方がよい	・『心豊かなくらしを子や孫へ』に修正。
	石塚委員	「心豊か」としてはどうか。	
	梅垣委員	「緑豊かな・・・」の「緑」は無くても良いのでは	・『人のやさしさや豊かな自然』に修正。
p. 31	近藤会長	「普及・定着」を「定着している」など、語尾を明示した方がよい	・表4-1は、語尾の言葉を追記。
		ホトケドジョウや薪ストーブなど、丹波市独自の取組に触れた方がよい	・表4-1に表現を加える。 ※「ホトケドジョウ」は入れにくいいため、見送る
	荻野委員	家庭ではごみの分別に力を入れており、それに触れた方がよい	
	近藤会長	「屋根・屋上・側壁」など、太陽光発電に囲まれるイメージ。ZEB・ZEHでエネルギーが賄われる等にした方がよい。	・太陽光発電に関する表現を修正。
	石塚委員	定着、普及などと比べて、地域づくりが「実現」の表現は違和感がある	・文章を修正。（「実現」は「進展」などに修正）
	石倉委員	「吸収源を増やす」に地産地消が入っているが、違和感がある。	・次のように構成を修正 農作物の地産地消→①-2へ 電力の地産地消 →②-5へ
	足立篤委員	方針⑥の気候変動の取組内容が方針と同じ文章。具体的なものを書けないか	・文章を修正
	石塚委員	市はごみ分別に力を入れているので、方針④は「分別」の表現を入れてはどうか	・文章を修正する 方針④の説明文に「ごみ分別」を加える。
	環境課	方針②の説明文は、ZEH、ZEBの並びとする。	・文章を「ZEH、ZEB」の順番に修正。 ※p. 39も同様に修正
p. 35	近藤会長	補助金等の情報がうまく市民などへ伝わるような工夫が必要だと思う。	・文章を修正 p. 37「地球温暖化・気候変動に関する情報発信の推進」の文章を修正

	石倉委員	事業者の3の「環境負荷の低減に寄与」は「環境負荷が小さい」とした方が良い	・文章を修正する 『環境負荷が小さい』に修正
		行政の2項目目、表記の順番は「市民」「事業者」とする	・文章を修正する 『市民、事業者は・・・』に修正
p.49	石倉委員	方針⑤の「環境保全・・・森林整備」や「環境にやさしい農業・・・」は表現が不明瞭。	・数値の算定根拠となっている、具体的な事業・施策は、総合計画の表記と合わせ、記載しません。
	近藤会長	方針②は、ZEB、ZEHの普及率などを入れることはできないか。	・利用可能な統計調査を確認した結果、利用可能な統計調査は見当たらず、記載しません。
	荻野委員	学校給食への地元農作物利用は、30%以上を設定できないか。	・生産数量等の問題で難しい。 ・方針①へ移動
	—	—	・目標値が「—」の項目について、表下段に説明を記載